

1.	④	11.	③	21.	④	31.	①	41.	①
2.	③	12.	②	22.	③	32.	②	42.	①
3.	①	13.	①	23.	③	33.	③	43.	④
4.	④	14.	②	24.	①	34.	①	44.	④
5.	③	15.	①	25.	③	35.	②	45.	②
6.	③	16.	①	26.	③	36.	①	46.	④
7.	④	17.	①	27.	①	37.	④	47.	③
8.	③	18.	②	28.	③	38.	①	48.	③
9.	③	19.	①	29.	③	39.	④	49.	②
10.	②	20.	②	30.	②	40.	④	50.	③

1.

解答 ④

【解説】

正解は④「～をつるす、掛ける」です。動詞の`hang`は、何かを上から「つるす、掛ける」という意味です。壁に絵を掛けたり、洗濯物を物干し綱に干したりする動作を表します。`He hung his jacket on the back of the chair.`（彼は上着を椅子の背もたれに掛けた）。①「～を扱う」は`handle`、②「～を持つ」は`have`や`hold`、③「～を隠す」は`hide`が適切な単語です。

◆補足：`hang`の活用は、意味によって変わるので注意が必要です。「～をつるす」の場合は`hang - hung - hung`と変化します。しかし、「～を絞首刑にする」という意味の場合は`hang - hanged - hanged`と規則変化します。また、`hang out`（ぶらぶらして過ごす）や`hang up`（電話を切る）といった句動詞も重要です。

2.

解答 ③

【解説】

正解は③の`beginner`で、「初心者、初学者」を意味します。何かを始めたばかりで、まだ経験や技術が浅い人を指します。`This class is suitable for beginners.`（このクラスは初心者に適しています）。他の選択肢は、①`winner`が「勝者」、②`loser`が「敗者」、④`player`が「選手、競技者」という意味です。

◆補足：`beginner`は動詞`begin`（始める）に、人を表す接尾辞`-er`が付いてできた単語です。コロケーションとしては`a beginner's course`（初心者向けコース）や、`beginner's luck`（ビギナーズラック、まぐれ当たり）などがあります。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①の`forest`で、「森林」を意味します。木々が広範囲にわたって密集している場所を指します。`The region is covered with dense forests.`（その地域はうっそうとした森林に覆われている）。他の選択肢は、②`woods`が`forest`よりも小規模な「森、林」を、③`jungle`が熱帯地方の「密林、ジャングル」を、④`desert`が「砂漠」を意味します。`forest`と`woods`の区別は厳密ではありませんが、一般的に`forest`の方がより広大で、人の手が入っていない自然な状態を指すことが多いです。

◆補足：`deforestation`（森林伐採）は環境問題の文脈で頻出する重要な単語です。`rainforest`は「熱帯雨林」を意味します。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④の`keep up with`で、「～に（遅れずに）ついていく」という意味です。流行、ニュース、会話のペース、あるいは移動する人などに遅れないようにする、という継続的な努力を表します。`It's important to keep up with the latest news.`（最新のニュースに遅れずについていくことは重要だ）。他の選択肢は、①`catch up with`が「（遅れを取り戻して）～に追いつく」、②`put up with`が「～を我慢する」、③`come up with`が「（アイデアなど）を思いつく」という、それぞれ重要な句動詞です。

◆補足：`keep up with`と`catch up with`は意味が似ていますが、`keep up with`は「遅れないようにし続ける」という継続的な状態、`catch up with`は「遅れた状態から追いつく」という一点の動作、という違いがあります。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③の`degree`で、主に二つの意味があります。一つは、温度や角度の単位である「度」です（記号は°）。もう一つは、物事の「程度、度合い」です。`Today's high will be 30 degrees Celsius.`（今日の最高気温は摂氏30度でしょう）。`I agree with you to a certain degree.`（私はある程度まであなたに同意します）。他の選択肢は、①`grade`が「学年、等級、成績」、②`score`が「得点」、④`point`が「点、要点」という意味です。

◆補足：`degree`には「(大学の) 学位」という意味もあります。`She has a master's degree in engineering.` (彼女は工学の修士号を持っている)。`to some degree`で「ある程度まで」、`by degrees`で「次第に」という熟語になります。

6.

解答 ③

【解説】

正解は③の`no more than`で、「～しか、たった～だけ」という意味です。これは`only`とほぼ同じ意味で、話者がその数量を「少ない」と感じていることを強調します。`The theater had no more than twenty people in it.` (その劇場には20人しかいなかった)。他の選択肢は、①`not more than`が「多くても～、せいぜい～」(= at most)、②`no less than`が「～も (たくさん)」(= as many/much as)、④`not less than`が「少なくとも～」(= at least)と、それぞれ異なるニュアンスを表す重要な表現です。

◆補足：`no more than` (～しか) と `not more than` (多くても～) の使い分けは非常に紛らわしいですが、`no`が付けば`only`と同じ、`not`が付けば`at most` (多くても) と同じ、と覚えておくとうまいでしょう。これらの表現は、数量に対する話者の主観的な評価 (多いか少ないか) を伝えるのに役立ちます。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を延期する」です。`put off`は、「～を延期する、先延ばしにする」という意味の句動詞です。予定されていた会議やイベント、あるいはやるべき事を、後の日時や未定の時期にずらすことを表します。`Don't put off what you can do today until tomorrow.` (今日できることを明日まで延ばすな)。①「(火など) を消す」は`put out`、②「～を我慢する」は`put up with`、③「～を身につける」は`put on`です。`put`を使った句動詞は意味が多様なので、一つ一つ正確に覚える必要があります。

◆補足：`put off`は`postpone`という、よりフォーマルな動詞とほぼ同じ意味で使えます。目的語が代名詞の場合は`put it off`のように間に挟みます。また、`put off`には「(人) をうんざりさせる、～の興味を失わせる」という意味もあります。`His arrogant attitude put me off.` (彼の傲慢な態度に私はうんざりした)。

8.

解答 ③

【解説】

正解は③「～に取って代わる、～を取り替える」です。動詞の`replace`は、古いものや壊れたものを新しいものと「交換する」ことや、ある人や物が別のものの地位や役割を担う「～に取って代わる」ことを表します。`We replaced the old carpet with a new one.`（私たちは古いカーペットを新しいものと取り替えた）。`Computers have replaced typewriters in most offices.`（コンピュータがほとんどのオフィスでタイプライターに取って代わった）。①「～を置く」は`place`、②「～を繰り返す」は`repeat`、④「～に返事をする」は`reply`です。

◆補足：`replace A with B`で「A を B と取り替える」という構文を覚えておきましょう。名詞形は`replacement`（交換、後任者）です。

9.

解答 ③

【解説】

正解は③の`count`で、主に二つの意味があります。一つは「～を数える」という他動詞としての用法です。もう一つは「重要である、価値がある、勘定に入る」という自動詞としての用法で、こちらが準2級レベルでは特に重要です。`Every little bit counts.`（どんな些細なことでも重要だ）。`It's not how much you read, but what you read that counts.`（どれだけ読むかではなく、何を読むかが重要だ）。他の選択肢は、①`mount`が「～に登る」、②`court`が「裁判所、コート」、④`country`が「国」という意味です。

◆補足：`count on ~`で「～を頼りにする、あてにする」という重要な句動詞になります。`You can count on me.`（私に任せてください）。`countdown`（秒読み）もこの`count`から来ていますね。

10.

解答 ②

【解説】

正解は②の`slightly`で、「わずかに、少し、やや」という意味の副詞です。変化や違いの程度が小さいことを表します。形容詞や副詞、比較級を修飾します。`I feel slightly better today than yesterday.`（今日は昨日より少し気分が良い）。他の選択肢は、①`tightly`が「強く、しっかりと」、③`brightly`が「明るく、輝いて」、④`rightly`が「正当に、当然のことながら」という意味です。

◆補足：`slightly`は`a little`や`a bit`と似ていますが、よりフォーマルな響きがあり、書き言葉でもよく使われます。形容詞形は`slight`（わずかな、軽微な）です。`a slight fever`（微熱）。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③「断然、はるかに」です。`by far`は、最上級や比較級を強調し、「ずば抜けて、断トツで」という強い意味を表す副詞句です。`This is by far the most interesting book I have ever read.`（これは私が今までに読んだ中で断然一番面白い本だ）。①「今までのところ」は`so far`、②「遠くから」は`from afar`や`from a distance`、④「一緒に」は`together`が適切な表現です。

◆補足：`by far`は最上級（`the best`など）を修飾するときは、最上級の前に置かれることも後ろに置かれることもあります（`by far the best` / `the best by far`）。比較級を修飾するときは、比較級の前に置きます（`by far better`）。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②の`another`で、「もう一つの、別の」という意味です。`an + other`が一つになった単語で、すでにあるものに加えて、不特定の「もう一つ」を指します。後ろには単数形の名詞が続きます。

`This piece of cake was delicious. Can I have another?`（このケーキは美味しかった。もう一つもらえますか？）。他の選択肢は、①`other`が「他の」、③`the other`が二つあるうちの「もう一方」、④`each other`が「お互い」という意味です。

◆補足：`another`の使い方は、`other`や`the other`との比較で理解することが重要です。`another`は「不特定多数の中の、どれでもいいからもう一つ」というニュアンスです。`I need another three days to finish this.`（これを終えるのにもう3日必要だ）のように、`another + 数字 + 複数名詞`の形も可能です。

13.

解答 ①

【解説】

正解は①「難しい」です。`difficult`は「困難な」という意味も持ち、理解したり、行ったり、解決したりするのが容易ではないことを示す基本的な形容詞です。`It is difficult for me to express my feelings in words.`（私にとって、自分の感情を言葉で表現するのは難しい）。②「簡単な」は`easy`や`simple`で、`difficult`の明確な対義語です。③「異なる」は`different`、④「熱心な、勤勉な」は`diligent`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：名詞形は`difficulty`（難しさ、困難）です。`have difficulty (in) doing`で「～するのに苦労する」という重要な構文になります。`He had no difficulty passing the exam.`（彼は難なく試験に合格した）。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②の`invent`で、「～を発明する」という意味の動詞です。それまで存在しなかった新しい機械、装置、方法などを、初めて考え出すことを表します。`Thomas Edison invented the light bulb.` (トーマス・エジソンが電球を発明した)。他の選択肢は、①`invite`が「～を招待する」、③`invest`が「～を投資する」、④`intend`が「～するつもりである」という意味です。

◆補足：名詞形は`invention`（発明、発明品）、発明家は`inventor`です。`discover`（発見する）との違いが重要です。`discover`はすでに存在していたが知られていなかったものを見つけ出すこと（例：`discover a new star` 新しい星を発見する）、`invent`は新しいものを創造することです。

15.

解答 ①

【解説】

正解は①「花火」です。`firework`は、`fire`（火）と`work`（作品）が組み合わさってできた単語です。通常、たくさんの花火が打ち上げられるため、複数形の`fireworks`の形で使われることがほとんどです。`The firework display was canceled due to strong winds.`（花火大会は強風のため中止になった）。②「火事」は`fire`、③「火山」は`volcano`、④「焚き火」は`bonfire`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：「花火を見る」は`watch the fireworks`と言います。「花火大会」は`a fireworks display`や`a fireworks festival`と表現できます。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①「私的な、個人の」です。`private`は形容詞で、公（`public`）のものではなく、特定の人やグループだけに関わる事柄や、他人に知られたくない個人的な事柄を指します。`The star's private life is often reported in the media.`（そのスターの私生活は、しばしばメディアで報じられる）。②「公共の」は`public`で、`private`の明確な対義語です。③「貴重な」は`precious`や`valuable`、④「人気のある」は`popular`が適切な単語です。

◆補足：コロケーションとしては、`private information`（個人情報）、`private school`（私立学校）、`private property`（私有財産）などがあります。名詞形は`privacy`（プライバシー）で、`respect one's privacy`（プライバシーを尊重する）のように使われます。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①「競争、レース、人種」です。`race`は主に二つの意味を持つ名詞です。一つは、速さを競う「競争、レース」です。もう一つは、身体的特徴などに基づいて分類される人々の集団である「人種」です。`Who do you think will win the race?`（誰がそのレースに勝つと思いますか?）。`We should not judge people by their race.`（私たちは人々を人種で判断すべきではない）。②`pace`は「ペース」、③`lace`は「レース編み物、ひも」、④`case`は「場合」です。

◆補足：動詞の`race`は「競争する」という意味です。コロケーションとしては、`a car race`（自動車レース）、`the human race`（人類）、`racial discrimination`（人種差別）などがあります。

18.

解答 ②

【解説】

正解は②「温度、体温」です。`temperature`は、「温度、気温」や、体の「体温」を意味する名詞です。`The temperature outside is below zero.`（外の気温は氷点下だ）。`You should stay in bed if you have a high temperature.`（高熱があるなら、ベッドで寝ているべきだ）。①「寺」は`temple`、③「一時的な」は`temporary`、④「誘惑」は`temptation`です。これらはつづりが似ていて紛らわしいので、注意しましょう。

◆補足：`take one's temperature`で「体温を測る」となります。気温について話すときは`high/low temperature`、体温について話すときは`high/normal temperature`を使うのが一般的です。

19.

解答 ①

【解説】

正解は①「～するのに苦労する」です。`have trouble doing`は、「～するのが難しい、～するのに困難が伴う」という意味の熟語です。`trouble`は「問題、困難」を意味する名詞です。この構文では、`trouble`の後に前置詞`in`が省略されていると考えられており、動名詞（-ing形）が続きます。`Many people have trouble sleeping in the summer because of the heat.`（多くの人が、夏の暑さのせいで寝るのに苦労する）。②「～するのが面倒だ」は`be bothered to do`、③「～する時間がある」は`have time to do`、④「～することを楽しみにする」は`look forward to doing`です。

◆補足：`trouble`の前に`some`、`a lot of`、`no`などを置いて、苦労の程度を表すことができます。`I had no trouble getting a taxi.`（私はタクシーを捕まえるのに全く苦労しなかった）。`have difficulty (in) doing`もほぼ同じ意味で使われます。

20.

解答 ②

【解説】

正解は②の`head for ~`で、「～に向かう、～を目指して進む」という意味です。動詞として使われる`head`には「頭を向ける」というイメージがあり、そこから特定の方向へ進むことを表します。`It's getting late. We should head for home.`（遅くなってきた。私たちは家路につくべきだ）。他の選択肢は、①`head off ~`が「～を阻止する」、③`come from ~`が「～の出身である」、④`leave for ~`が「～へ向けて出発する」という意味です。`leave for`が出発の動作に焦点を当てるのに対し、`head for`は向かっているという方向性そのものに焦点を当てます。

◆補足：`be heading for ~`のように進行形で使われることも多いです。`The storm is heading for the coast.`（嵐が沿岸に向かっている）。比喩的に、ある状況に「向かっている」という意味でも使われます。`The company is heading for bankruptcy.`（その会社は破産に向かっている）。

21.

解答 ④

【解説】

正解は④「職員、スタッフ」です。`staff`は、会社や学校、店などで働く「職員、社員、スタッフ」全体を指す集合名詞です。`The hotel staff were very helpful.`（そのホテルのスタッフはとても協力的だった）。①「物、こと」は`stuff`で、`staff`とつづりが似ていてよく混同されるので注意が必要です。

②「段階、舞台」は`stage`、③「冗談」は`joke`です。

◆補足：`staff`は集合的に職員全体を指すため、通常は複数形の`s`を付けず、動詞は複数形で受けることが多いです（イギリス英語）。一人の職員を指す場合は`a member of staff`や`a staff member`と言います。

22.

解答 ③

【解説】

正解は③の`value`で、名詞として「価値、価格」、動詞として「～を尊重する、高く評価する」という二つの重要な意味があります。名詞の例: `He bought the house for a value well below its market price.`（彼はその家を市場価格をかなり下回る値段で買った）。動詞の例: `I value health above wealth.`（私は富よりも健康を重んじる）。他の選択肢は、①`virtue`が「美德、善」、②`volume`が「音量、量、巻」、④`view`が「眺め、意見」という意味です。

◆補足：形容詞形は`valuable`（高価な、貴重な）です。`of great value`で`very valuable`とほぼ同じ意味になります。また、`values`と複数形になると、個人や社会が大切にする「価値観」という意味で使われることが多いです。

23.

解答 ③

【解説】

正解は③の`differ`で、「異なる、違う」という意味の動詞です。二つ以上の物事の間には相違点があることを示します。`Opinions differ on this topic.`（この話題については意見が分かれる）。`differ from`の形で「～と異なる」と表現するのが一般的です。他の選択肢は、①`offer`が「～を申し出る」、②`suffer`が「(苦痛など)を経験する」、④`prefer`が「～の方を好む」という意味です。

◆補足：形容詞形は`different`（異なる、違う）、名詞形は`difference`（違い、相違点）です。これらは基本的な単語ですが、動詞の`differ`もフォーマルな文脈などで使われるので覚えておきましょう。`differ greatly`（大きく異なる）、`differ in`（～の点で異なる）のような形で使われます。

24.

解答 ①

【解説】

正解は①の`outdoor`で、「屋外の、野外の」という意味の形容詞です。`outdoor`は必ず名詞の前に置いて使います。`We are planning an outdoor barbecue this weekend.`（私たちは今週末、屋外でのバーベキューを計画している）。他の選択肢は、②`outdoors`が「屋外で」という副詞、③`outside`が名詞「外側」や前置詞「～の外に」、副詞「外で」など、④`outer`が「外側の」（例: `outer space` 宇宙空間）という意味です。

◆補足：`indoor`（屋内の）が対義語です。`indoor`（形容詞）と`indoors`（副詞）、`outdoor`（形容詞）と`outdoors`（副詞）のペアは、品詞の違いと`s`の有無をセットで覚えておきましょう。`She loves outdoor activities like hiking and camping.`（彼女はハイキングやキャンプのような野外活動が大好きだ）。

25.

解答 ③

【解説】

正解は③の`bear`で、動詞として多くの意味を持ちます。準2級レベルでは、①「(困難・苦痛・退屈など)に耐える、～を我慢する」、②「(子)を産む」という二つが重要です。`The pain was almost more than he could bear.`（その痛みは彼が耐えられる以上のものであった）。`She has borne five children.`（彼女は5人の子供を産んだ）。他の選択肢は、①`bare`が形容詞で「裸の」、②`beer`が「ビール」、④`tear`が動詞で「～を引き裂く」または名詞で「涙」という意味です。

◆補足：動物の「クマ」も同じスペルの`bear`です。動詞`bear`の活用は`bear - bore - born`または`borne`と不規則に変化します。「生まれる」を意味する`be born`は、この`bear`の過去分詞形が使われています。

26.

解答 ③

【解説】

正解は③の`add`で、「～を加える、付け足す、足し算する」という意味の動詞です。何かを既存のものに追加したり、数を合計したりすることを表します。`Add a little salt and pepper to taste.`（味を見て、塩コショウを少々加えてください）。`If you add 15 to 20, you get 35.`（15に20を足すと35になります）。他の選択肢は、①`ask`が「～を尋ねる」、②`act`が「行動する」、④`admit`が「～を認める」という意味です。

◆補足：名詞形は`addition`（追加、足し算）です。`in addition`で「その上、さらに」、`in addition to`で「～に加えて」という重要な熟語になります。対義語は`subtract`（～を引く）です。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①の`prefer`で、「（～よりも）～の方を好む」という意味の動詞です。二つ以上の選択肢を比較して、どちらか一方をより好むことを示します。`Which do you prefer, tea or coffee?`（紅茶とコーヒー、どちらの方が好きですか？）。他の選択肢は、②`prepare`が「～を準備する」、③`refer`が「～に言及する、参照する」、④`suffer`が「（苦痛など）を経験する、苦しむ」という意味です。

◆補足：`prefer A to B`で「BよりもAを好む」という形が基本です。この`to`は`than`ではないことに注意してください。また、`prefer to do`（～する方を好む）や`prefer doing`（～する方を好む）のように、動詞を続けることもできます。名詞形は`preference`（好み）です。

28.

解答 ③

【解説】

正解は③「招待、招待状」です。`invitation`は、パーティーや結婚式、会議などのイベントに、人に来てくれるよう頼むこと、あるいはそのために送るカードや手紙を指す名詞です。`Have you replied to their wedding invitation?`（彼らの結婚式の招待状に返事をしましたか？）。①「発明」は`invention`、②「投資」は`investment`、④「介入」は`intervention`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`invitation`の動詞形は`invite`（～を招待する）です。`invite 人 to 物事`で「人を～に招待する」という形で使われます。`We've invited all our neighbors to the party.`（私たちは隣人全員をパーティーに招待した）。コロケーションとしては`an invitation card`（招待状）や`accept an invitation`（招待を受け入れる）などがあります。

29.

解答 ③

【解説】

正解は③の`fortunately`で、「幸運にも、運良く」という意味の副詞です。文頭に置かれて、文全体を修飾することが多いです。良い偶然が働いたことを示します。`The traffic was heavy, but fortunately, I made it to the airport on time.`（交通量は多かったが、幸運にも、私は時間通りに空港に着いた）。他の選択肢は、①`formally`が「正式に、儀礼的に」、②`formerly`が「以前は、かつては」、④`forcefully`が「力強く、強力的に」という意味です。

◆補足：`fortunately`は、形容詞`fortunate`（幸運な）に`-ly`を付けて作られた副詞です。対義語は`unfortunately`（不運にも、残念ながら）で、これも文頭で頻繁に使われる重要な副詞です。

30.

解答 ②

【解説】

正解は②の`let`で、「～させてあげる、～することを許す」という意味の使役動詞です。`let + 人 + 動詞の原形`の形で、人が何かをしたいと望んでいるときに、それを許可することを示します。`My boss let me leave the office early.`（上司は私が早く退社するのを許してくれた）。他の選択肢は、①`make`が「（強制的に）～させる」、③`have`が「（当然のこととして）～してもらう」、④`get`が「（説得して）～してもらう」という意味合いで使われ、それぞれニュアンスが異なります。

◆補足：`let`を使った命令文`Let's ...`（～しましょう）や`Let me ...`（私に～させてください）は日常会話で頻出します。`Let me introduce myself.`（自己紹介させてください）。また、`let`の活用は`let - let - let`と変化しない不規則動詞である点にも注意しましょう。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①「（幅が）広い」です。`wide`は形容詞で、道、川、部屋などの横の長さ、つまり「幅」が広いことを表します。`The road is wide enough for two cars to pass.`（その道路は車が2台すれ違うのに十分な幅がある）。②「深い」は`deep`、③「高い」は`high`、④「大きい」は`large`や`big`が適切な単語です。

◆補足：`wide`は比喩的に「範囲が広い」という意味でも使われます。`She has a wide circle of friends.`（彼女は交友範囲が広い）。動詞形は`widen`（～を広げる、広がる）、名詞形は`width`（幅）です。対義語は`narrow`（狭い）です。

32.

解答 ②

【解説】

正解は②「必ず、間違いなく」です。`without fail`は、「失敗することなく、必ず、きっと」という意味の熟語で、何かを確実にを行うことを強調します。主に文末に置かれ、約束や命令といった、強い意志や義務を伴う文脈で使われます。`I promise to be there at 7 o'clock without fail.`（7時に必ずそこにいると約束します）。①「失敗することなく」は`without failing`、③「恐れることなく」は`without fear`、④「ためらうことなく」は`without hesitation`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`without fail`は、`Make sure you finish the report by tomorrow without fail.`（明日までに必ずレポートを終わらせるように）のように、命令文を強調するためにも使われます。

33.

解答 ③

【解説】

正解は③の`complain`で、「不平を言う、苦情を言う」という意味の動詞です。何かに対して不満や不快感、痛みを言葉で表明することを表します。`Several customers complained about the slow service.`（何人かの客が、サービスの遅さについて不平を言った）。他の選択肢は、①`complete`が「～を完成させる」、②`compare`が「～を比較する」、④`contain`が「～を含む」という意味です。

◆補足：名詞形は`complaint`（不平、苦情）です。`make a complaint`で「苦情を言う」となります。`complain to 人 about 物事`で「(人)に(物事)について不平を言う」という形でよく使われます。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①「まじめな、深刻な」です。`serious`は形容詞で、人の態度が「本気である、まじめである」ことや、問題や病気が「深刻である、重大である」ことの二つの主な意味合いで使われます。`She gave me some serious advice.`（彼女は私にいくつか真剣なアドバイスをくれた）。`Global warming is a serious environmental issue.`（地球温暖化は深刻な環境問題だ）。②「好奇心が強い」は`curious`、③「様々な」は`various`、④「以前の」は`previous`です。

◆補足：会話の中で相手に`Are you serious?`と尋ねると、「本気で言ってるの?」「まさか」といった、驚きや疑いを表す決まり文句になります。副詞形は`seriously`（まじめに、ひどく）です。

35.

解答 ②

【解説】

正解は②の`involve`で、「～を含む、伴う」または「(人)を巻き込む、関わらせる」という意味の動詞です。ある活動が必要な要素として何かを含んでいることや、人が事件や活動に関係していることを示します。`Any job involves some degree of stress.`（どんな仕事もある程度のストレスを伴う）。`I`

don't want to get involved in their argument.' (私は彼らの口論に巻き込まれたくない)。他の選択肢は、①`invite`が「～を招待する」、③`invent`が「～を発明する」、④`invade`が「～に侵入する」という意味です。

◆補足：`be involved in ~`の形で「～に関わっている、参加している」という受け身の形で使われることが非常に多いです。`He is deeply involved in local politics.` (彼は地元の政治に深く関わっている)。名詞形は`involvement` (関与、関わり) です。

36.

解答 ①

【解説】

正解は①「邪悪な、有害な」です。形容詞の`evil`は、道徳的に非常に悪い、邪な状態を指します。物語に出てくる悪役や、非常に不道德な行為などを表現するのに使われます。`The story portrays a battle between good and evil forces.` (その物語は善と悪の勢力の戦いを描いている)。②「空の」は`empty`、③「平等な」は`equal`、④「熱心な」は`eager`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`evil`は名詞として「悪、害悪」という意味でも使われます。`Money is the root of all evil.` (金は諸悪の根源だ) ということわざは有名です。対義語は`good` (善、良い) です。

37.

解答 ④

【解説】

正解は④「簡単に、容易に」です。`easily`は副詞で、苦労や困難なく物事が行われる様子を表します。`I can easily carry this suitcase. It's not heavy.` (このスーツケースは簡単に運べます。重くありません)。①「熱心に」は`eagerly`、②「特に」は`especially`、③「正確に」は`exactly`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`easily`は、形容詞`easy` (簡単な) の副詞形です。`y`で終わる形容詞を副詞にするには、`y`を`i`に変えて`-ly`を付けるのが基本ルールです。また、最上級を強調して「断然、間違いなく」という意味で使われることもあります。`She is easily the most talented musician in the group.` (彼女はグループの中で断然最も才能のある音楽家だ)。

38.

解答 ①

【解説】

正解は①「ふるまい、行動」です。`behavior`は、人や動物の「ふるまい、行動、態度、行儀」を意味する名詞です。特定の状況下での行いや、その人の普段の行いを指します。`Good behavior is

expected from all students.' (すべての生徒に、良いふるまいが期待される)。②「信念」は`belief`、③「美しさ」は`beauty`、④「勇気」は`bravery`や`courage`が適切な単語です。

◆補足：動詞形は`behave` (ふるまう) です。`Please behave yourself at your grandparents' house.` (おじいさんの家では行儀よくしなさい)。イギリス英語では`behaviour`と綴るのが一般的です。`behavior`は数えられない名詞として扱われます。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④の`remain`で、「～のままでいる、依然として～である」または「残る、とどまる」という意味の動詞です。状態が変わらないことや、ある場所に居続けることを表します。`Even after the argument, they remained friends.` (口論の後でも、彼らは友達のままだった)。他の選択肢は、①`remember`が「～を思い出す」、②`repair`が「～を修理する」、③`require`が「～を要求する」という意味です。

◆補足：`remain` + 形容詞 (～のままでいる) の形でよく使われます。`Please remain seated.` (どうぞ座ったままでいてください)。名詞形は`remains`で、複数形で「残り物、遺跡、遺体」といった意味になります。

40.

解答 ④

【解説】

正解は④の`anyway`で、「とにかく、いずれにせよ、ともかく」という意味の副詞です。前の発言の内容や状況に関わらず、本題に戻ったり、話題を変えたり、追加の情報を述べたり、あるいは単に文を終えたりする際に使われる便利な言葉です。`I'm not sure if it's the right decision, but I'll try it anyway.` (それが正しい決断かは分からないが、とにかくやってみるつもりだ)。他の選択肢は、①`anywhere`が「どこでも」、②`always`が「いつも」、③`almost`が「ほとんど」という意味です。

◆補足：`anyway`は文頭、文中、文末のいずれにも置くことができます。`I was tired, but I went to the party anyway.` (疲れていたが、それでもとにかくパーティーに行った)。`Thanks anyway.`は、相手の申し出を断った後などに「(でも) ありがとう」という気持ちを伝える定番の表現です。

41.

解答 ①

【解説】

正解は①「眺め、景色、意見」です。名詞の`view`は、主に二つの意味があります。一つは、特定の場所から見える「眺め、景色、光景」です。もう一つは、物事に対する「意見、見解」です。`We have a`

beautiful view of the lake from our room.`（私たちの部屋からは湖の美しい眺めが見える）。`He has a different view on the issue.`（彼はその問題について異なる見解を持っている）。②「訪問」は`visit`、③「復習、批評」は`review`、④「血管」は`vein`です。

◆補足：`view`と`scenery`はどちらも「景色」と訳せますが、`scenery`が地域全体の「風景」を指すのに対し、`view`は特定の地点からの「眺め」を指します。`point of view`で「観点、視点」。動詞の`view`は「～を…と見なす」という意味で使われます。`I view this as a great opportunity.`（私はこれを絶好の機会と見なしている）。

42.

解答 ①

【解説】

正解は①の`teammate`で、「チームメート、チームの仲間」を意味します。同じスポーツチームや、仕事上のプロジェクトチームなど、共通の目標に向かって活動するグループのメンバーを指します。`She has a good relationship with all her teammates.`（彼女はチームメート全員と良好な関係を築いている）。他の選択肢は、②`classmate`が「級友、クラスメート」、③`roommate`が「同室者、ルームメート」、④`playmate`が「遊び仲間」という意味です。

◆補足：`mate`は「仲間、友達」を意味する口語的な言葉で、特にイギリスやオーストラリアでよく使われます。`team`（チーム）と`mate`（仲間）が組み合わさった単語で、成り立ちからも意味が推測しやすいですね。

43.

解答 ④

【解説】

正解は④の`spare`で、形容詞として「予備の、余分の」、動詞として「（時間・お金など）を割く、分け与える」という二つの重要な意味があります。形容詞の例: `It's always a good idea to have a spare key.`（予備の鍵を持っておくのは良い考えだ）。動詞の例: `I'm sorry, I can't spare any more time for this.`（すみません、これ以上このために時間を割くことはできません）。他の選択肢は、①`square`が「正方形」、②`scare`が「～をおびえさせる」、③`share`が「～を共有する」という意味です。

◆補足：`spare time`で「余暇、自由時間」を意味します。`What do you like to do in your spare time?`（余暇には何をするのが好きですか?）。`spare part`で「予備の部品」となります。

44.

解答 ④

【解説】

正解は④「実のところ」です。`as a matter of fact`は、「実のところ、実際は」という意味の熟語です。前に述べたことを強調したり、訂正したり、あるいは意外な事実を付け加えたりする際に使われます。`He looks young. As a matter of fact, he's a grandfather.`（彼は若く見える。実のところ、彼はおじいさんなのだ）。①「事は重大だ」は`The matter is serious.`、②「問題外で」は`out of the question`、③「どんなことがあっても」は`no matter what`が適切な表現です。

◆補足：`as a matter of fact`は`in fact`や`actually`とほぼ同じ意味で、文頭に置かれることが多いです。よりフォーマルな響きを持つことがあり、相手の発言を丁寧に補足する際に役に立ちます。

45.

解答 ②

【解説】

正解は②「多くても、せいぜい」です。`at (the) most`は、数量や程度が、ある基準より多くはない、その数値が上限であることを示す熟語です。`The whole process will take two weeks at most.`（全工程は、長くても2週間しかかからないだろう）。①「少なくとも」は`at least`で、`at most`の対義語です。③「ほとんどの場合」は`in most cases`、④「全く」は否定文で`at all`を使います。

◆補足：`at most`の`the`は省略されることもあります。前の問題の`at least`（少なくとも）と対で覚えておくと、数量表現の幅が広がります。`not more than`とほぼ同じ意味で使えます。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④「平均、標準」です。名詞の`average`は、複数の数値を合計してその個数で割った「平均、平均値」や、一般的で普通の「標準」を意味します。`The average temperature in this city is 15 degrees Celsius.`（この都市の平均気温は摂氏15度だ）。`His grades are well above the class average.`（彼の成績はクラスの平均をかなり上回っている）。①「年齢」は`age`、②「角度」は`angle`、③「利点」は`advantage`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`average`は形容詞として「平均的な、普通の」、動詞として「平均して～になる」という意味でも使われます。`the average person`（平均的な人）。`on (the) average`で「平均して、概して」という熟語になります。

47.

解答 ③

【解説】

正解は③の`expert`で、「専門家、熟練者、エキスパート」を意味します。特定の分野において、長年の経験や学習によって深い知識や優れた技術を持っている人を指します。`He is an expert on`

computer security.` (彼はコンピュータセキュリティの専門家だ)。他の選択肢は、①`export`が「輸出」、②`effort`が「努力」、④`except`が前置詞で「～を除いて」という意味です。

◆補足：`expert`は形容詞として「熟練した、専門的な」という意味でも使われます。`We need some expert advice.` (私たちには専門家の助言が必要だ)。`an expert in/on a subject`で「～の分野の専門家」という形でよく使われます。

48.

解答 ③

【解説】

正解は③の`exercise`で、名詞として二つの主要な意味があります。一つは、健康や体力向上のための「運動、体操」です。もう一つは、学んだことを身につけるための「練習問題、演習」です。`You should get more exercise.` (あなたはもっと運動すべきだ)。`Let's try the grammar exercises on the next page.` (次のページの文法練習問題をやってみよう)。他の選択肢は、①`excitement`が「興奮」、②`experiment`が「実験」、④`explanation`が「説明」という意味です。

◆補足：`exercise`は動詞として「運動する」や「(権利など)を行使する」という意味でも使われます。`I try to exercise every morning.` (私は毎朝運動するようにしている)。`take exercise`で「運動をする」という言い方もできます。

49.

解答 ②

【解説】

正解は②の`participate`で、「(活動などに) 参加する」という意味の動詞です。`participate in ~`の形で使われ、イベントや議論、スポーツなどに、一員として積極的に関わることを表します。`Everyone is welcome to participate in the festival.` (誰でもそのお祭りに参加するのを歓迎します)。他の選択肢も「参加する」と訳せますが、①`attend`は会議などに「出席する」、③`join`はクラブや組織に「加わる」、④`enter`は競技会などに「参加登録する」という意味で、それぞれ目的語を直接とる他動詞です。`in`を伴うのは`participate`です。

◆補足：名詞形は`participation` (参加) と `participant` (参加者) です。`participate in` は `take part in` とほぼ同じ意味で、よりフォーマルな響きがあります。

50.

解答 ③

【解説】

正解は③の`ancient`で、「古代の、大昔の」という意味の形容詞です。非常に遠い過去の時代、特に文明の初期の時代を指します。`I'm interested in ancient Roman history.` (私は古代ローマ史に興味があ

る)。他の選択肢は、①`recent`が「最近の」、②`modern`が「現代の」、④`anxious`が「心配して、切望して」という意味です。

◆補足：`ancient civilization`（古代文明）や`ancient ruins`（古代遺跡）といったコロケーションでよく使われます。`ancient`の対義語は`modern`（現代の）です。
